

# デジタルアーカイブのある未来の ミュージアム

高野明彦（国立情報学研究所）

## 文化的記憶の担い手：MLA or LAM

記憶機関（Memory Institution）

- ・ **M**useum：博物館、美術館、科学館
- ・ **L**ibrary：図書館、文学館
- ・ **A**rchive：公文書館、文書館

大学や寺社はこれらすべての要素を含んでいる

# MLAを特徴づける記憶メディアの性質

## 記憶機関（Memory Institution）

- ・ **Museum** : 遺物、自然標本、美術品 → 非複製物
- ・ **Library** : 図書、雑誌、視聴覚資料 → 複製物
- ・ **Archive** : 公文書館、文書館 → 公文書、古文書

記録を担うメディアの性質が異なる

## 記憶のデジタルアーカイブ化

電子化により記憶は複製自在な共通メディアをもった

- ・ **Museum** : 収蔵品の保存と 複製自在な記録の追加
- ・ **Library, Archive** : 全文電子化、デジタル索引の追加  
資料発見方法の変革、内容による発見！

MLAを特徴づけていた本質的な違いが消滅！

- ・ MLAの融合再編が進んで区別がなくなるだろう

## デジタルアーカイブによるLibrary変革

- 図書<sup>1</sup>の全文デジタル化 = 本の「デジタルツイン」
  - ➡ 発見性が飛躍的に向上、情報提供の単位が自在、遠隔地からもオンデマンドでオンライン利用可能
- OPAC検索、開架式書庫、閲覧空間、Online資料  
閲覧端末などを融合したサービスを提供可能
- **新しい著作権法！** Library?の「デジタルツイン」

## Library変革からMuseum変革へ

- 文化財のデジタル化＝**文化財の「デジタルツイン」**  
Museumの外へ文化財のデジタル記録を提供  
他のMLA内の関連するコンテンツと相互リンク  
➡ **MLA**の壁を超えて記憶が相互につながる
- 展示空間、収蔵品検索、ライブラリ閲覧空間などを  
融合した体験空間を施設を跨って実現可能

## 未来のミュージアムは 収蔵品に関する記憶のデジタルツインを提供する

- ▷ すべての収蔵品はデジタル収蔵品でもあり、関連記憶とつながる
- ▷ 利用者は主体的にリアル展示とデジタル収蔵庫を行き来できる
- ▷ ほとんどのサービスは館外からも利用できる (e.g. 学校、他のMLA)

# Museum Library 「デジタルツイン」 の例

## 福岡市科学館サイエンスナビ

- ・ 別フロアでの展示体験を個々の目線で掘り下げる
- ・ 小学館図鑑NEO、Newtonムック、ナショナルジオなど  
関連記事や動画を閲覧できる
- ・ 自分の疑問が本物のコンテンツとの出会いに繋がり  
さらに大きな驚きを体験する

## 文化財の「デジタルツイン」

### 法隆寺金堂壁画写真ガラス原板デジタルビューア

- ・ 現物の壁画は72年前に焼損
- ・ 昭和10年撮影の写真ガラス原板をデジタル化
  - 3D空間に配置された超高精細画像を眺められる
- ・ 当時の最先端技術による記録が、その時には存在しなかったデジタル情報に変換されて蘇った

## Museumデジタルアーカイブの進展

- 世界各地のMuseum : MET, MoMA, Chicago, Rijksmuseum, British Museum, Smithsonian, 東京国立博物館, 奈良国立博物館, Tate, etc.
- デジタルアーカイブ集約サイト : Europeana, DPLA, Trove, DigitalNZ, 文化遺産オンライン, ジャパンサーチ, カルチュラルジャパン



ヘルプ

>English

参加館数 1044 館 公開作品件数 273541 件 2022年10月17日現在

<https://bunka.nii.ac.jp/>

文化遺産オンライン

# Cultural Heritage Online

文化遺産オンラインは、文化庁が運営する我が国の文化遺産についてのポータルサイトです。全国の博物館・美術館等から提供された作品や国宝・重要文化財など、さまざまな情報をご覧いただけます。

日本列島  
タイムマシンナビ  
Time Machine Navi



ビューアで見る

老猿

作品一覧

Collection List

カテゴリで見る

Gallery

世界遺産と無形文化遺産

World Heritage and  
Intangible Cultural Heritage

全国の美術館・博物館

Museum List

<https://jpsearch.go.jp/>

## 睡蓮

本作はモネが68歳の1908年に描かれた15点の連作の1点で、他の連作47点とともに翌年5月、パリのデュラン＝リュエル画廊における「睡蓮一水の風景連作」と題する個展に出品された。膨大な睡蓮の作品全体の中で、最も軽快な作風である。

著作権なし-契約による制限あり 東京富士美術館



日本のデジタルアーカイブを探そう



教育・商用利用可

819,791



連携されている資料

21,876,142

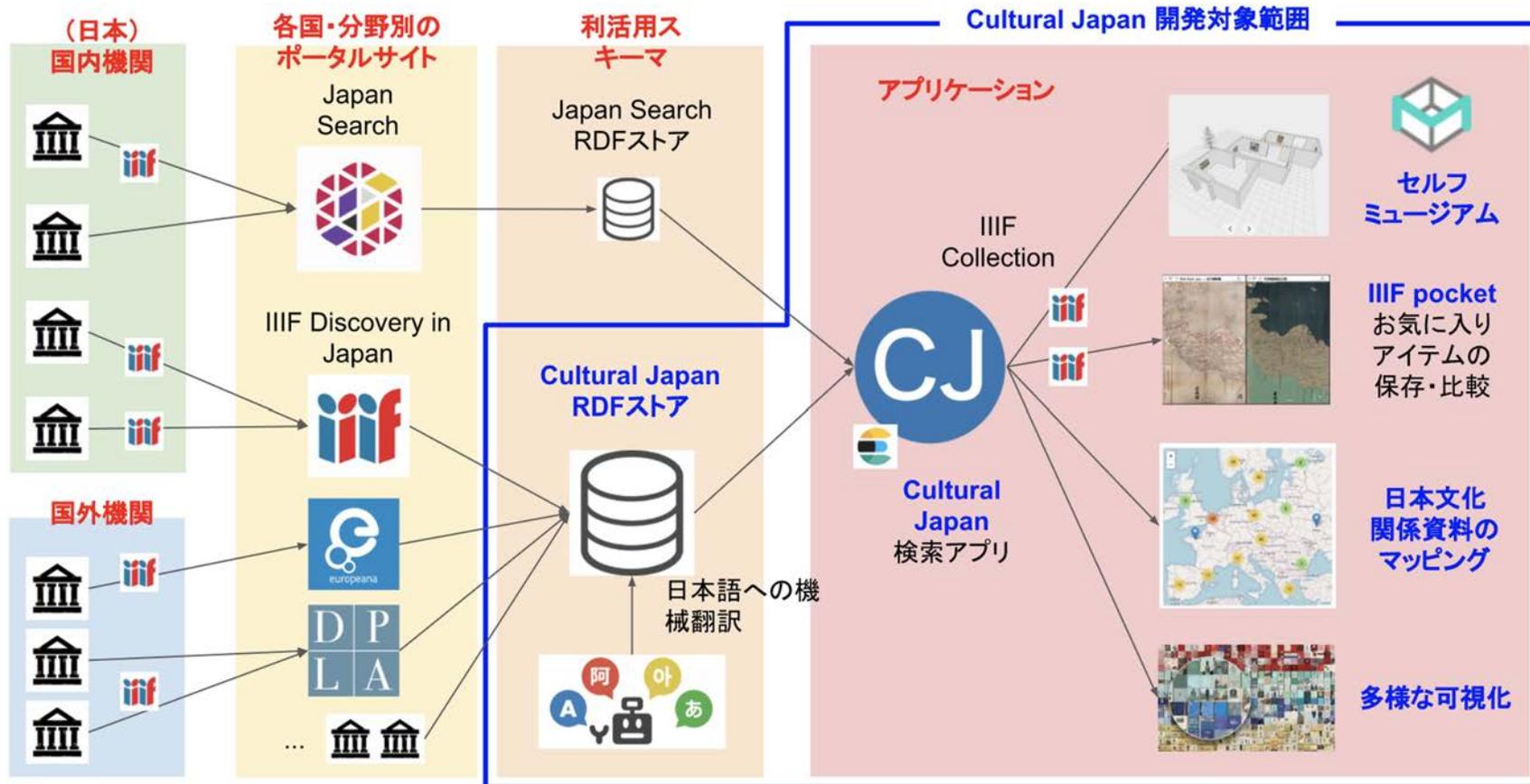


オンラインで公開

3,286,231

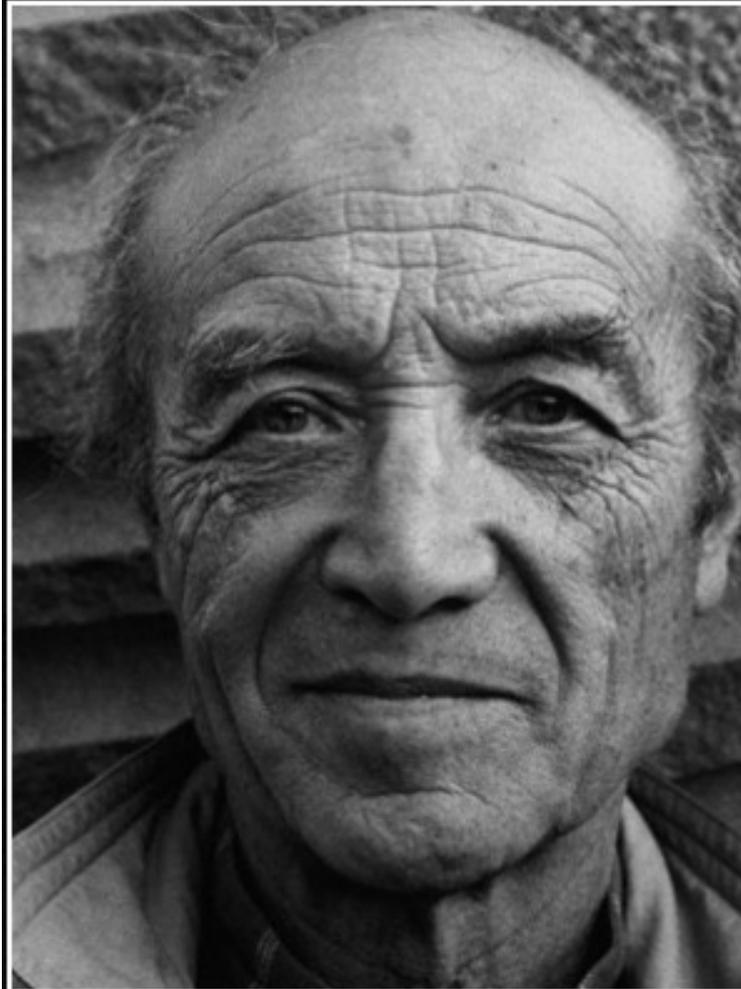
連携しているデータベース: 118

# 日本文化ポータル Cultural Japan



## 三の丸尚蔵館でのデジタル化取り組みへの期待

- 全収蔵品のデジタル化と学芸員による解説の整備
  - 収蔵品の解説付きデジタル情報を広く社会へ自由なライセンスで提供して、教育や観光などに活用
  - 1点豪華主義的なデジタル展示設備は仮設とすべき
- 対象作品が少数に限定、高価な設備の更新維持は負担、  
先進的展示技術の実証は外部資金による巡回企画展が適切



We are a landscape of all we have  
seen.

— *Isamu Noguchi* —

AZ QUOTES